



“重点「道の駅」候補” 選定証伝達式を行います

道の駅「(仮称)はくい」 道の駅「(仮称)白山」

国土交通省では「道の駅」を地域活性化の拠点とする取組を応援するため、重点「道の駅」制度を創設し、優れた「道の駅」を関係機関と連携して重点支援する取組を実施します。

石川県内では、現在羽咋市内及び、白山市内で整備が計画されております道の駅「(仮称)はくい」と、道の駅「(仮称)白山」を、平成27年1月30日に“重点「道の駅」候補”に選定しました。

ついては以下のとおり、**選定証伝達式**を執り行いますので、お知らせします。

<p>●道の駅「(仮称)白山」</p> <p>○日時 平成27年2月27日(金) 11時20分～</p> <p>○場所 白山市役所5階市長応接室 (石川県白山市倉光二丁目1番地)</p> <p>◆問い合わせ先 ※道の駅「(仮称)白山」に関すること 白山市建設部建設課 課長 松田 正之 電話(直通): 076-274-9557</p>	<p>●道の駅「(仮称)はくい」</p> <p>○日時 平成27年2月27日(金) 14時10分～</p> <p>○場所 羽咋市役所3階市長室 (石川県羽咋市旭町ア200)</p> <p>◆問い合わせ先 ※道の駅「(仮称)はくい」に関すること 羽咋市商工観光課 係長 松田 義人 電話(直通): 0767-22-1118</p>
---	--

・当日は、北陸地方整備局長の選定証を白山市長、羽咋市長へ伝達するほか、記念撮影等を予定しています。

・各道の駅の概要については、別添「参考資料」をご覧ください。

・全国の状況等については、以下のHPをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000472.html (本省記者発表)

<http://www.hrr.mlit.go.jp/press/2014/01/150130dourobu.pdf> (北陸地方整備局記者発表)

【問い合わせ先】

◆選定証伝達式に関すること

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

交通対策課長 高畠 勝志

電話(直通): 076-264-9920 FAX: 076-233-9617

重点「道の駅」制度の概要

- 全国各地で「道の駅」を地域活性化の拠点とする取組が進展しています。
- この動きを応援するため、国土交通省では、重点「道の駅」制度を創設し、優れた「道の駅」を関係機関と連携して重点支援する取組を実施します。



《重点「道の駅」に想定される機能》

地域外から活力を呼ぶ ゲートウェイ型

地域の観光総合窓口機能

地域全体の観光案内、宿泊予約窓口 等

インバウンド観光の促進

外国人案内所、免税店、無料公衆無線LAN、海外対応ATM 等

地方移住等の促進

地方移住のワンストップ窓口
ふるさと納税の情報提供 等

「道の駅」が
活力を呼び、雇用を創出、
地域の好循環へ



地域の元気を創る 地域センター型

地域の産業振興

地方特産品のブランド化、6次産業化 等

地域福祉の向上

診療所、役場機能、高齢者住宅 等

高度な防災機能

広域支援の後方支援拠点、防災教育 等



全国モデル「道の駅」

国土交通大臣選定

地域活性化の拠点として、特に優れた機能を継続的に
発揮していると認められるもの

全国的なモデルとして成果を広く周知するとともに、
さらなる機能発揮を重点支援

重点「道の駅」

国土交通大臣選定

地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援
で効果的な取組が期待できるもの

取組を広く周知するとともに、取組の実現に向けて、
関係機関が連携し、重点支援

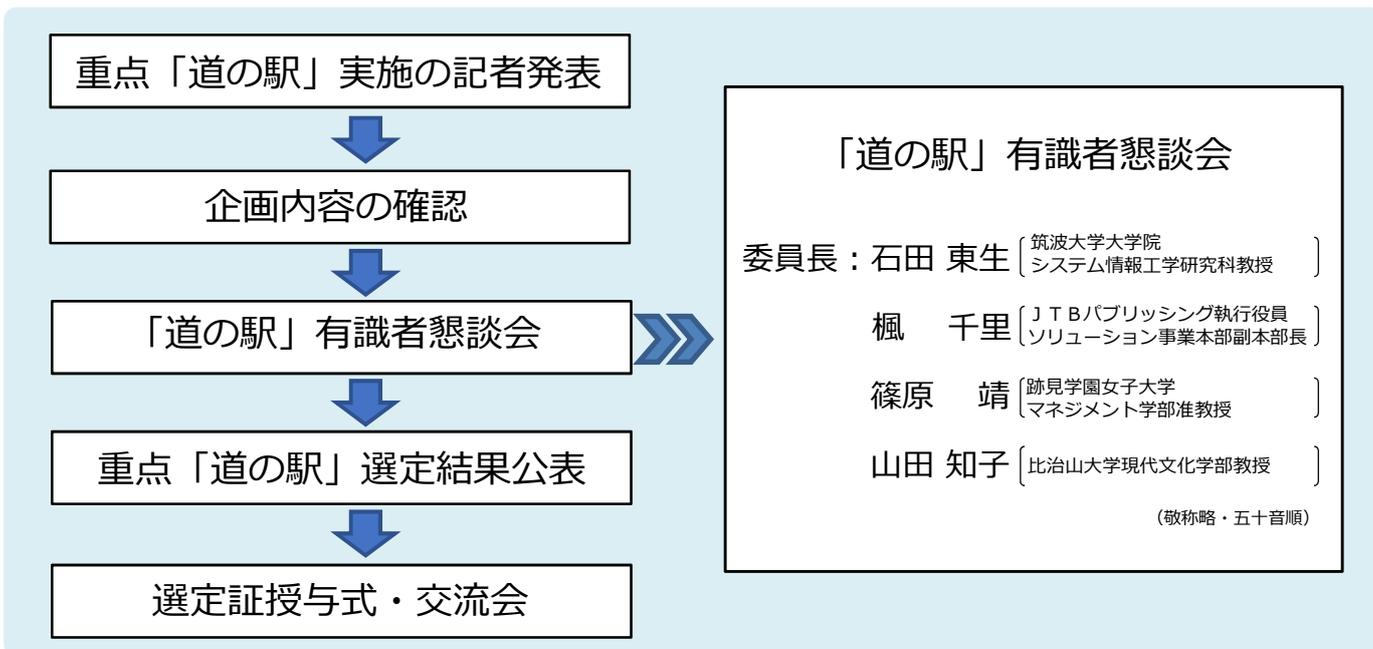
重点「道の駅」候補

地方整備局長等選定

地域活性化の拠点となる企画の具体化に向け、地域での意欲的
な取組が期待できるもの

関係機関が連携し、企画検討等を支援

(選定の流れ)



「道の駅」の目的と機能

「道の駅」の目的

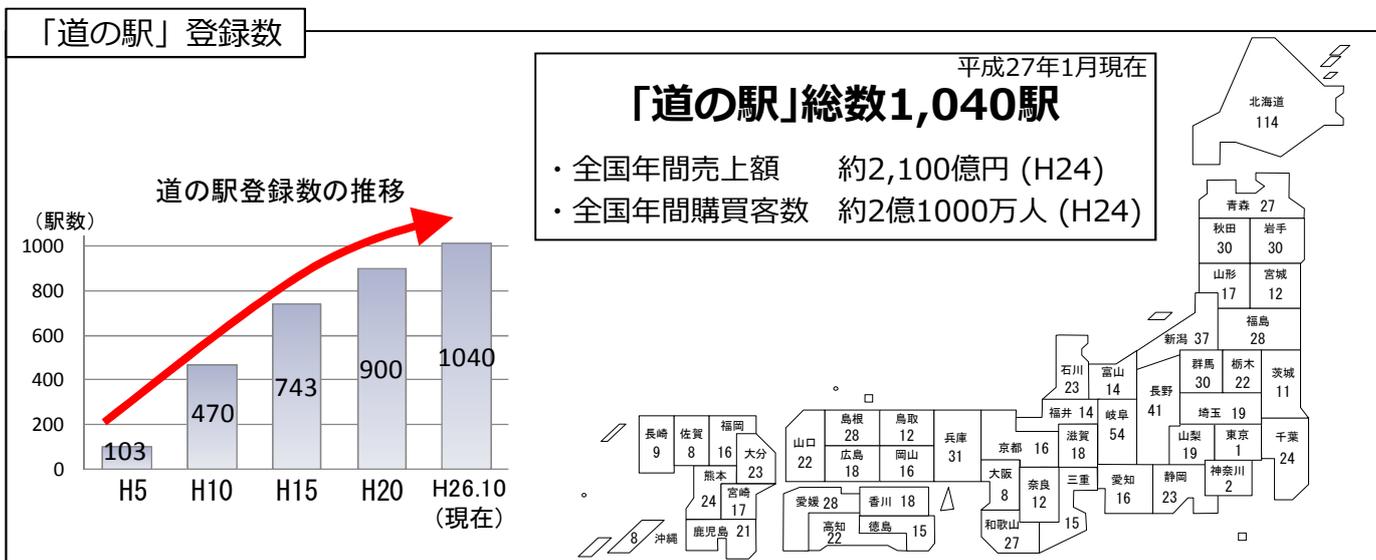
- 道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供
- 地域の振興に寄与

「道の駅」の機能

- 休憩機能**：24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ
- 情報発信機能**：道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供
- 地域連携機能**：文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設

「道の駅」の基本コンセプト

地域とともに作る
個性豊かな
にぎわいの場



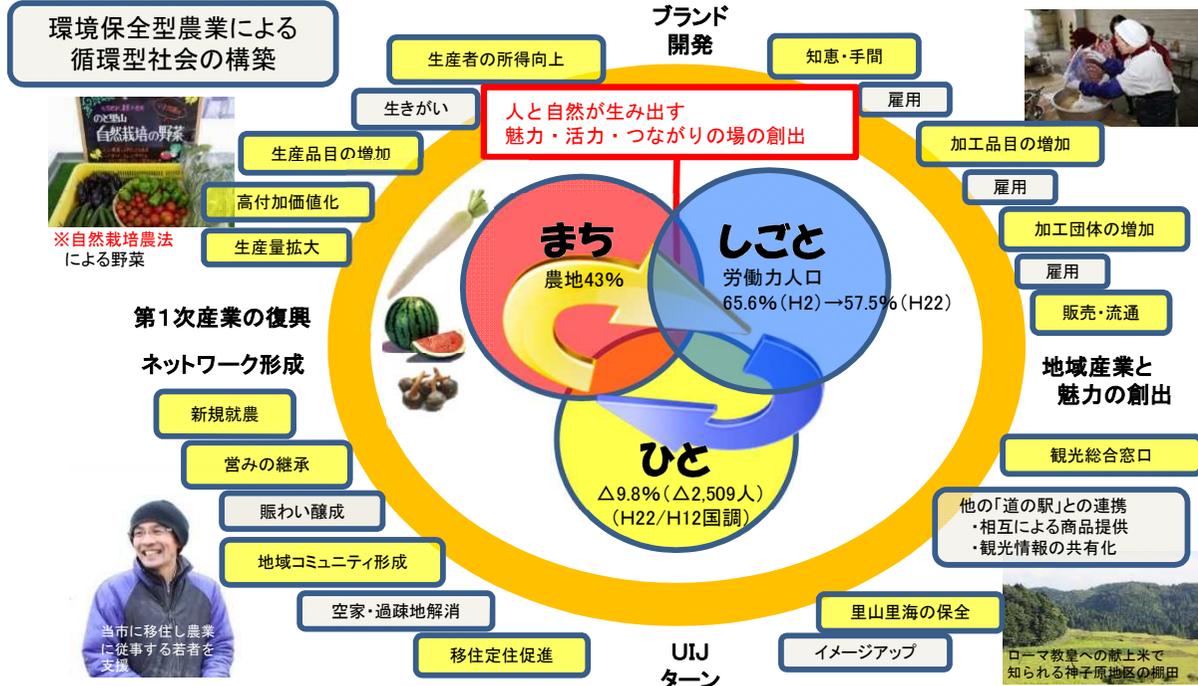
道の駅「(仮称)はくい」 石川県羽咋市

○日本で初めての世界農業遺産(GIAHS)認定地として、世界に通用する安全安心な農業システム(自然栽培農法)の普及とその農産物の生産・加工・販売・流通を循環させた6次産業化による雇用創出、農村再生(景観保全・若者移住促進)及び所得向上を図る。
 ○能登半島のゲートウェイとして、広域観光案内機能並びに災害時後方支援拠点機能を果たす。(安全安心なツーリズムの推進)

<地方創生拠点としての機能> 地域センター型

産業振興 世界農業遺産を活用した6次産業化	防災 防災機能付与・後方支援拠点	観光総合窓口 能登半島のゲートウェイ
---------------------------------	----------------------------	------------------------------

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
(仮称)はくい	石川県	羽咋市	市道羽咋3号線	新設	—	単独型



<提案の先駆性・ポイント>

- 世界農業遺産認定地としての先駆的取組として、JAはくいと市との共同による**自然栽培農法**の普及とその高付加価値(ブランド)化、6次産業化
 ※「奇跡のリング」で知られる木村秋則氏が実践する**農薬・肥料・除草剤を使用しない農法**
- のと里山海道千里浜IC直近の温泉施設を活用した災害時後方支援拠点
- 能登半島ゲートウェイとして広域観光案内機能の充実と周遊の推進

<実施内容>

- 自然栽培農産物を活用した6次産業化のための加工施設や直売所の設置
- 直接的な雇用に加え、地元生産者からの調達による雇用創出と所得向上
- 耕作放棄地を活用した新たな農業スタイルの確立(景観保全への貢献)
- 食料品や加工品の備蓄のほか、非常用電源装置等によるバックアップ機能
- 無料公衆無線LANやATMの設置、多言語対応案内看板の設置

道の駅「(仮称)白山」 石川県白山市

- 日本の先端技術と、美しい風景を海外に発信するゲートウェイ型道の駅
- 「新幹線」や「白山手取川ジオパーク」、「お神楽体験」や「白山百膳(食)」など、埋もれていた地域資源を道の駅が結び付け、日本を体感できる観光地として外国人をおもてなし

《地方創生拠点としての機能》 ゲートウェイ型

インバウンド観光
海外や県外からの来訪に対応した観光案内機能の充実

観光総合案内
既存3駅との連携、白山の恵みを凝縮した“おもてなし”と各エリアを楽しむ“きっかけ”の演出

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
(仮称)白山	石川県	白山市	国道8号	新設	-	一体型(予定)



- 日本の先端技術をコンシェルジュがご案内
- 白山市にある3つの鉄道車両基地を発信

新幹線 車両基地の案内

新幹線車両基地の見学

在来線基地見学

地域の課題

- 観光客の通過点**
 - ・金沢駅(北陸新幹線開業予定)と小松空港の中間点
→ 増加する観光客を如何に取り込むか
- 中山間地の過疎・高齢化**
 - ・中山間地の人口流出。市街地部への人口流入
→ 中山間地を含め、地域の回遊性向上がカギ
- 埋もれた地域資源**
 - ・新幹線車両基地やジオパークなど多彩な資源が存在
→ 地域資源を結び付けるきっかけと仕組みが必要

- 道の駅「(仮称)白山」と既存3駅を自転車道で連絡
- 日本の自然や文化を体感できるサイクルツアー等の実施

台湾からのサイクリングツアー

英語で発信！白山手取川ジオパーク勉強会

しらやまひめ白山比咩神社のお神楽体験

地元素材を用いた「白山百膳」の提供

<提案の先駆性・ポイント>

- 埋もれていた地域資源を道の駅が結び付け、外国人をおもてなし
- 日本の「技術・自然・文化」の「海外への発信基地」
 - ・先端技術「新幹線」を世界に発信
 - ・美しい自然「白山手取川ジオパーク」を世界に発信
 - ・日本の文化「お神楽体験」や「白山百膳」を世界に発信
 - 周辺施設や既存道の駅と連携し「体感できる」ルートを構築
 - ・北陸新幹線 白山総合車両基地をはじめ、市内の3つの鉄道車両基地の案内
 - ・個性豊かな既存3駅を自転車道で連絡し、体感できるサイクルツアーを提供

<実施内容>

- 外国人観光客を取り込む仕掛けづくり
 - ・インバウンド対応(外国人案内所、免税店、無線LANなどの設置)
 - ・コンシェルジュの常駐(多言語対応)
 - ・台湾の旅行会社等への売り込み 等
- 地域内の回遊性向上
 - ・道の駅を連絡する自転車道の整備
 - ・周辺施設と連携した道の駅発着ツアーの実施 等
- 地域資源の磨き上げと発信
 - ・発酵食品などの地元特産品の開発と販売 等